

新規オプション検査のご案内

2018年2月より、オプション検査として新たに「**血管炎検査**」を開始します。
また**便中ピロリ菌抗原検査・CT肺気腫検査**もスタートしております。ぜひこの機会にご利用ください。

NEW

血管炎検査

3,450円(税込)

血液で血管炎を見つけ出す検査です。抗好中球細胞質抗体(ANCA)関連血管炎では、症状の出現より前にこの検査が陽性になると報告されています。

血管炎は我が国ではまだ多くはありませんが、近年増加の著しい血管を侵す難治性の病気です。血管炎では全身の様々な臓器に障害を来してくる可能性があります。特に腎臓に血管炎が出てくる場合は症状なく進行し、気付けば透析の一手手前ということもあります。その他にも症状として、長引く副鼻腔炎、皮膚の斑点やじんましん、息切れや咯血、関節の痛み、手足のしびれ等を感じることがあります。

40歳以上の方、以前に蛋白尿や血尿を指摘されたことのある方、慢性の副鼻腔炎がある方にお勧めします。
検査は採血で同時に行います。結果が陽性の場合、血管炎専門医の診察並びに精密検査をお勧めします。



【お申し込み】事前にお申し込みください。

【結果報告】後日郵送する結果表でご確認いただけます。

便中ピロリ菌抗原検査

3,240円(税込)

便中のヘリコバクターピロリ菌(以下ピロリ菌)由来の抗原を調べる検査です。
近年、慢性胃炎および胃がんとピロリ菌の関連が明らかになり、ピロリ菌の除菌により胃がんの発生率の低下が期待できると言われています。



ピロリ菌の検査方法はいくつかありますが、当センターでは便を用いて直接的にピロリ菌の有無を評価する方法を採用しています。なお、この検査は精度が高いですが、ピロリ菌が存在していても陰性と判定されることが稀にあります。そのため、胃画像検査とピロリ菌検査との総合診断が重要です。また、ピロリ菌が関与しない胃がんもあることが報告されています。

方法は、専用容器にドック当日または前日に便を一回採取し、ドック当日にご提出いただけます。

【お申し込み】**受診日の1週間前まで**にお申し込みください。

ご予約後、専用の検査容器をお送りします。(検便の容器とは別です。)

【結果報告】後日郵送する結果表でご確認いただけます。

CT肺気腫検査

肺気腫とは、肺胞壁が破壊され肺にたまる空気を排出できなくなる病気で、その原因の多くがタバコです。
一度壊れた肺胞は元に戻ることはありません。喫煙歴のある方やご家族に喫煙者がいる方などにお勧めします。



CT肺気腫検査は、胸部マルチスライスCT検査(別途申し込み要)の画像データを専用ソフトで解析して肺気腫となっている割合の数値と3次元画像で分布を表示します。CT肺気腫検査単独でのお申し込みはできません。胸部マルチスライスCT検査の画像を用いるため、追加の被ばくや身体的負担はありません。



【料金】胸部マルチスライスCT検査+CT肺気腫検査

¥15,120(税込)

【お申し込み】事前にお申し込みください。

【結果報告】後日郵送する結果表でご確認いただけます。

その他のオプション検査につきましては、「1日人間ドック オプション検査・プログラムのご案内」をご覧ください。

オプション検査追加をご希望の場合は、事前にお電話にてお申し込みください。



聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター
TEL 03-5550-2400 (8:30~16:30 日・祝日除く)
E-mail dock@luke.ac.jp